

新体育館アリーナ棟 具体的な設計図が完成



令和6年12月にまとめた「新体育館建設基本設計」に基づき、構造や設備、仕様、材料などの詳しい設計を取りまとめた「新体育館アリーナ棟実施設計」が完成しました。

これから工事業者を決定して4月に着工、令和9年7月に完成する予定です。



問 新公共マネジメント推進課公共施設マネジメント推進室 ☎ 73-9112



建物の概要

敷地面積 12,717.96m²
延床面積 4,063.90m²

構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造)
階数 地上2階建て



特色

防災拠点としての機能

非常用発電機や緊急汚水槽などを備え、災害時には防災拠点としての機能を発揮します。

「ZEB Ready」認証を取得予定

ZEB Ready(ゼブ・レディ)は優れた省エネルギー性能の基準を満たした建物です。一般的な集会施設と比較して一次エネルギー消費量を50%以上削減することなどが要件です。認証取得すれば、九州の市町村が保有する体育施設では初めてとなります。



今後のスケジュール(予定)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
解体工事	武道場解体 令和7年10月～令和8年3月		体育館・弓道場解体 令和9年7月～令和10年1月		
アリーナ棟建設		建設工事 令和8年3月～令和9年7月		アリーナ棟利用開始 令和9年9月(予定)	多目的棟利用開始 令和11年4月(予定)
多目的棟建設		実施設計完成 令和8年6月～令和9年2月	建設工事 令和10年2月～令和11年3月		



メインアリーナ

1階

メインアリーナはバスケットボールコート2面分の広さ。2階には230席の観客席を配置します。消音・無風で省エネルギー性能が高い壁放射空調を完備し、快適に過ごせる環境を確保します。

また、備品などを外から直接搬入・搬出できるゲートを設置し、普段の大会やイベントで活用するだけでなく、大規模災害時の救援物資等の出し入れも想定しています。

1階 エントランスホール

1階には大会時の本部室、救護室など、さまざまな目的に利用可能な会議室を配置します。エントランスホールは利用者の交流の場となることを見込んでいます。

トイレ・シャワー・更衣室・授乳室は1箇所にまとめ、利用しやすい空間に。トイレやシャワーの個室数の男女比率は、大会などの参加者比率に合わせて間仕切りを移動して変更できます。



武道場

1階

剣道場1面、柔道場1面の広さを有する武道場は、武道競技だけでなくヨガなどのイベントにも活用できます。敷地南側の築地川に面し、開放的でありながら落ち着いて集中できる空間です。

剣道場と柔道場の間に遮音性の高い可動間仕切りを設けることで、視界や音を遮って集中できる環境を確保します。



2階 弓道場

弓道場は南向きに矢を射る最善の配置で、場内は「近的競技6人立ち」と呼ばれる公式規格の競技スペースを確保。射場後方に審判席などを配置できます。

また、外周の立上りと防矢ネットにより、矢が周囲に飛び出すのを防ぎます。

